

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター この街きつず学園（児童発達支援）					公表日		2025 年 3 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	31	1	・全員出席の場合、大人の数も多くなるので狭く感じるので活動する人数や部屋を変えている。 ・R6年度くらいの人数（1クラス8名位）であればよいと思う。	・子どもたちが落ちついて生活できるスペースに配慮しながら、日々の出席人数やクラス体制を検討していきたいと思います。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	29	3	・重心のこどもが登園するときに介助が必要になり、体制が難しい場合には活動内容で工夫している。 ・食事や午睡時は、人員が足りないと感じる。 ・クラス担任は、少なくとも2名は正職であってほしい。	・クラス内での工夫の他に、他クラスとも連携しながら体制を整えていきたいと思います。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	32		・わかりやすく生活しやすいように、必要のないものはカーテンで見えないようにしたり、気が散らないよう本箱等後ろ向きにしている。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	33		・毎日消毒を行って清潔にされている。 ・使用後は掃除を行い、清潔にできている。 ・室温設定が適切であるか検討してほしい。冬場は室温に応じた子どもの服の調節を気をつけたい。保護者にも、園だより等で室温や活動の様子を伝え、服の調節を意識してもらうことも必要だと思う。	・クラス内の環境設定や保護者支援について、引き続き職員同士で声をかけ合い行っていきたい。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	31	1	・特に午睡時、一緒に寝られない子、午睡をしない子等いるので、部屋が足りないと感じる時があり、空部屋があれば使用している。	・部屋の他にも仕切りでのスペース調整など、他クラスとも相談・連携しながら整えていくようにしたいです。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	30	1	・毎日のクラス内での 振り返りや報告会。 ・毎週の職員会での情報共有。 ・年2回カンファレンスあり。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	31		・毎年評価を行っている。ホームページに掲載している。・共有し改善策を考え伝えている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30	1		・引き続き、休憩時間の確保に努めていきたい。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	23	5	・現在行っている支援が適切なかどうか、他に良い支援があるのか、評価・アドバイスを頂けると支援向上に繋がっていくと思う。 ・外部評価されているのかわかりません。 ・外部評価結果を確認したことがないためわからない。	・				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	31		・職員自身で学びたい研修を出し合い、事業所内研修を行った。 ・更に機会を設けられるようにしていきたい。 ・公開講座の案内、今後お願いしたい。	・今後も研修の機会を設けていきたい。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	31	1	・公表している。	・保護者の皆様に周知していきたい。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	32		医療機関や園内等のアセスメントを共有。モニタリングや保護者の願い・悩みも聞きながら、話し合って作成。年に2回作成している。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	31		支援計画の作成は、児発・クラス担任・看護師・主任・訓練士・園長と話し合い、保護者の願いも確認し、検討・作成している。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	32		・支援計画に基づいた記録用紙に記載し、振り返りを行っている。					

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	32		医療機関や園内で保護者と一緒にアセスメントし、支援に生かしている。子どもの姿を支援計画に沿って記録し確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	32		・子どもの支援計画は、ガイドラインに沿って立てている。 ・支援内容は子どもの姿から具体的に段階を追って立てている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	31		・クラス会で1週間の活動について担任で話し合う時間をつくっている。他のクラスと相談しながら立案している。	・引き続き、主にはクラス内、また他クラスとも相談しながら療育活動を検討していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	30		・机上の活動、運動等かたよらないようにバランスよく組み合わせている。 ・研修で各クラスの活動を紹介したり、子どもの出席状況に応じて担任が他クラスへ入る機会があるのはよいと思います。	・引き続き、他クラスに支援に入る機会や、情報共有の機会を設けていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	31		・見通しをもって集団活動や机上の制作等の参加の目的や仕方を支援計画に記しそれぞれが楽しめるよう工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	31			・添乗、延長預かり対応、勤務時間の違い等あり全員での打ち合わせや療育準備、振り返りが難しいこともあるが、クラスリーダーを中心に工夫しながら連携して行いたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	27	3	・職員の勤務時間がまちまちなため、難しさを感じる。ことがある。 ・勤務時間、勤務形態の違いから、打ち合わせや振り返りができない日もあった。	・添乗、延長預かり対応、勤務時間の違い等あり全員での打ち合わせや療育準備、振り返りが難しいこともあるが、クラスリーダーを中心に工夫しながら連携して行いたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	31		・個人のケースは細かく記録している。 ・日々の振り返りを行って、改善等支援につなげている。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	30		・相談支援専門員とのモニタリングには、なるべく担当職員や児発管が出席し、保護者と共に情報共有し方向性を確認している。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	30		・できる限り参画している。 ・なるべく担当職員が参加できるように、時間を設定してもらっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	30		・保健・福祉・医療・学校等と連携している。 ・必要な子どもの主治医を混ぜたカンファレンスを行い支援体制を作っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30		・移行支援は丁寧に引き継いでいる。 ・見学・体験は職員も同行し、現場での生活の中での引継ぎを行っている。 ・支援計画等保護者より	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	30		・就学には教育相談員と共に保護者に寄り添い、方向が決まれば移行先の教員も当園へ見学に来て、細かい情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			・県内の児童発達支援センターとの情報交換会に参加し、同じ立場の悩みを共有し、それぞれの良さを参考に支援の向上につなげている。 ・個々利用している児童発達とはケースを通して連携している。	・地域の他の児童発達支援事業所との連携を定期的に行えるよう
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16		・信濃医療のPT.OT.STにもっと助言を求めてほしいと思う。 ・クラスの中に訓練士に入ってもらい生活の中のアドバイスをもらっている。	・引き続き、必要に応じて保護者の方を通して、または承諾いただき直接、医療機関の訓練士と情報共有や助言を仰いでいきたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16		自立支援協議会の運営委員会・療育支援部会・医療的ケア部会・強度行動障害WGへ参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	32		・以前（コロナ時）より増えた。 ・地域の保育園との交流を再開した。	・来年度も計画していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	31		・送迎時に直接又は連絡帳を通して伝え合っている。 ・訓練や保護者通園の時に課題について共有し、関わり方等共通理解している。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29	1	・ご家庭での悩みに丁寧に答えている。 ・悩みや知りたいことをアンケートで聞き、それについて回答した。	・保護者の皆様に参加できる研修の機会を提供していきたいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	30		・入園前説明会で少人数でのグループ毎に説明している。	・今後も丁寧に説明を行っていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	31		・支援計画にも乗せる、子どもへの願いをお聞きし共有し支援に取り込んでいる。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	31		・じっくり時間を設けて行っている。 ・支援計画の説明と家庭での様子や困り事も聞き、共通認識して合意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	31		・相談等共有し、速やかに回答できる担当との懇談を設定している。普段から保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30	1	・月に1回親子行事等も予定されているが、活動を行ったりと気軽に話をしたり交流したりできていないので、そのような機会があるとよい。	・『お話ししよう』の機会や親子行事での活動内容を工夫したり、保護者会にも協力していただきながら機会を設けていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	31		・連絡帳での保護者からの相談時、担当が担任以外だった時の返答の仕方、悩むときがあります。その度担任に確認、指示を受けていますが、対応の仕方を確認してください。	・引き続き、担任に指示を仰いだり、連絡帳以外の方法で担任から返答ができるといい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	28	3	・HPが以前のままの活動内容や時間割り、写真になっているので、作成し直してもよいと思う。 ・内部でのお便りはあるが、HP・SNSは不十分。	・HP等の整備をしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	31		・取り扱いには注意し研修もある。 ・警備を依頼している。・個人情報の保護は徹底している。	・今後も情報管理に努めます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	31		・視覚支援で対応している。	複数担任なので情報共有を徹底し、わかりやすい支援を提供します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	24	5	・コロナ禍移行難しくなっている。 ・コロナ禍移行まだ難しいが計画していきたい。	・再開できるよう検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31		・コロナ対応がなくなり、園外へバスで出かけることが増えてきました。嬉しいことですが、職員の目がしっかり行き届くよう、連携して声を掛け合って事故防止に努めたい。	・引き続き職員間で声に出し合いながら連携をとっていくようにする。また、危険回避や事故防止・安全面等の振り返りや意見交換が、担任に支援に入った職員全員がその場で発信し合っていけるといい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	30	1	・色々な状況を考慮し、毎月避難訓練を実施している。・法人全体や親子合同避難訓練があり、引き渡し訓練も行っている。	・今後も様々な想定で訓練し、緊急事態に備えています。・備蓄等の確認も定期的に行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	31		・熱性けいれんに関し、今年度は聞き取り不足だった。	・今後に向けて反省を生かし、医療・健康面等の聞き取りも行っていきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	32		・指示書の提出と懇談をしている。・医師の指示書に基づいている。・朝会で確認している。・部屋を分けたり、掃除の徹底をしている。	・今後も看護師・栄養士・担任・主任・園長とで医師の指示書を確認し、除去し、職員全体に周知して安全管理の徹底に努めます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	28	2	・不明です。 ・園庭遊具の点検、どのようにしているのか。使用する子どもの年齢が幅広い（きっず〜ふーもん）ため、しっかり点検・確認が必要だと思います。	・定期的に遊具の見直しや点検の機会を設けているが、安全面等の気づき振り返り、意見交換等を日常的に発信し合えるといい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	28	1	・安全計画に基づいて法人全体で研修している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	32		・大きなヒヤリハットばかりではなく、日頃のささいなヒヤリハットも重要です。大きな事故に繋がらないためにも、話す機会があってもよいのではないかと思います。	・引き続き日々の振り返りや意見交換を、支援に入った職員全員が発信し合っていけるといい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31		・法人全体で全員参加の研修を受けている。	・法人全体では委員会が設置されています。日々適切な対応をしているかの振り返りと周知を行っていきたい。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	29		・法人内で虐待・身体拘束の研修があり全員参加している。	・今後も保護者との相談・合意を丁寧にし、支援計画に掲載していきます。
--	----	--	----	--	-----------------------------	------------------------------------